

イギリスのデモ隊が奴隷商人の銅像を引き倒して海に投げ入れた

U.K. Protesters Pull Down Statue of Slave Trader and Throw It Into the Bristol Harbour

<https://time.com/5849772/slave-trader-statue-bristol/>

アメリカのAP 通信社が6月7日に発信したニュースを紹介します。5月25日に米ミネアポリスで起きた、白人警官による無抵抗な黒人ジョージ・フロイドへの過剰な対応で死亡させた事件を機に世界に広がっている#Black Lives Matter 運動、即ち、「黒人に対する暴力や構造的な人種差別の撤廃を訴える運動」として、国際的に広がっているもので、皆さんご存知のニュースです。本日投稿するのは、今年4月27日付でKPCに投稿した「最後のイギリス旅行－その2 リバプールと奴隷産業」で述べた、リバプールより早くから奴隷産業で栄えていた、イギリス南西部の大都市**ブリストル**で発生した奴隷商人に関する事件だからです。

リバプールの時は、ビートルズのヒット曲ペニーレイン (Penny Lane) を引用してリバプールの奴隷商人ジェームズ・ペニー (James Penny) の事を紹介しました。ブリストルの場合の有名な奴隷商人はエドワード・コルストン (Edward Colston) で、彼は奴隷商人であり国会議員で、奴隷貿易で稼いだ多額の金で、学校・病院・ホール・教会・道路・・・ブリストル市の為に尽くし、1807年にイギリスが公式にはイギリスとイギリス領土での奴隷制度も貿易も禁止したが、以降も、イギリス・西アフリカ・北米の三角貿易を行うイギリス以外の奴隷商人の多くの企業に資本家として投資し、間接的に奴隷産業を継続して、死後150年後の1895年にブリストル港の傍に銅像が立っていた。やった事は、数十年のズレと都市の違いを除けば、全く同じことです。リバプールではリバプール大学など知識人が歴史の事実を記録し公表をし、世界最大の奴隷博物館を作ってきた。

ブリストルでも、「ブリストルの恥の象徴であり、撤去せよ」と署名運動があったが、成功しなかった。ブリストル湾はイギリスで最も干満の差が激しくて、海港を作れず、エイヴォン川を約10 km上流に遡った位置の河川港で、全体がドックの集合体である。讚美歌アメイジング・グレイスの作詞をしたジョン・ニュートンも奴隷商人だったが改心し牧師になった。かれの墓碑がブリストル大聖堂にあり見に行った。

① 地図でブリストルの位置をご確認ください。

アメリカ大陸との貿易で、鉄道輸送でロンドンーリバプールと競争し、ロンドンーブリストルが負けてさびれた。

② エドワード・コルストンの銅像の写真を3枚添付します、破壊前台座あり、破壊前台座なし、デモ隊が引き倒して港に投げ落とす場面です。

③ 民衆の大半が白人で、アメリカの黒人男性と同じく首にロープを巻いて8分間締めつけて港に投げ入れた。

